

# **ANALISIS MANIFESTASI SISTEM *IE* PADA MASYARAKAT JEPANG**

## **DEWASA INI**

Riany Chairunisa

**43141.52015.0106**

## **ABSTRAKSI**

Di setiap negara memiliki budaya yang berbeda-beda dan menjadi ciri khas dari negara tersebut tersebut. Selain lahir dari masyarakat, budaya dapat lahir di lingkungan keluarga, contohnya *ie* pada masyarakat Jepang. Sistem *ie* merupakan sistem kekerabatan atau kekeluargaan yang sudah ada sejak zaman Tokugawa dan melekat dalam kehidupan orang Jepang. Sistem *ie* tidak hanya berlaku dalam lingkungan keluarga saja melainkan lingkungan sosial orang Jepang. Namun, seiring berjalannya waktu dan masuknya westernisasi, budaya mengalami perubahan termasuk sistem *ie*. Sistem *ie* dihapuskan dan memberikan perubahan dalam keadaan sosial pada bentuk keluarga, tugas dalam keluarga, posisi dalam masyarakat dan pernikahan pada masyarakat Jepang dewasa ini. Dalam penelitian ini, peneliti menggunakan metode deskriptif kualitatif untuk menjelaskan fungsi sistem *ie* pada masyarakat tradisional Jepang. Hasil penelitian ini adalah adanya perubahan dan pergeseran sebelum dan sesudah sistem *ie* dihapuskan berdasarkan fenomena yang terjadi pada masyarakat Jepang dewasa ini.

Keyword : Masyarakat Jepang, Keluarga, sistem *ie*, manifestasi

## 要旨

最近の日本社会における顕在の家制度の分析

**RIANY CHAIRUNISA**

**43141.52015.0106**

日本文学の研究

STBA JIA

2019

家システムは、徳川時代から存在してきた親族または家族のシステムであり、日本の生活に固有のものである。しかし、時間とともに西洋化が進むにつれて、文化はすなわちシステムを含む変化を遂げてきた。家システムは廃止され、家族、家族の中での義務、社会における地位、そして最近の日本社会との結婚という形で社会的条件の変化をもたらしている。この研究では、研究者らは定性的記述法を使用した。この研究の結果はシステムの前後の変化と変化、すなわち最近日本社会で起こる現象に基づいて削除されている。

キーワード：家システム、日本社会、顕現、家族

## 第 I 章 はじめに

### A. 背景

人間は一人では生きられないので、彼らは社会に住んでいる。社会では常に世代から世代へと実行される習慣があり、習慣は文化と呼ばれている。文化は周囲の環境から生まれることができ、そのうちの 1 つは日本社会の社会システム、すなわち家システムことである。この制度は徳川と明治維新の時代にまで遡り、明治政府は 1896 年に明治民法または明治民法として知られる民法を公表した。しかし、特に日本の急激な経済発展の現象を受けてこのシステムの値は変わる傾向がある。これらの変化は、日本国民自身の未来にさえつながる。

### B. 問題の定式化

1. 第二次世界大戦前の日本社会における家システムの実装は何ですか。
2. 最近の日本社会への家システムの顕在の現れはどうですか。

## 第 II 章 理論的基礎

### A. 文化

岩波（2000）によると文化とは、歴史的に形成されてきた日本人の生活や思考の様式の全体を、特にそこに現れた民族としての個性ないし特性に注目して考える意味での概念である。

### B. 家族

Suparlan の Rustina（2014、292）によると、家族は互いに影響を及ぼし、互いに影響を及ぼし合う構成員からなる単一システムである。

### C. 家

家は日本に特殊な慣行であり、通文化的意味の家族と違う。。。

家は家産や家業の連営の集団であり、この意味で社会における生活の単位として存続していたから、それは成員の生死を越えて、連続することを目標とした。

## 第 III 章

### 研究方法

#### A. 研究方法

この研究の方法は定性的な説明である。この研究はケーススタディ研究を使用している。Stake (1995) によって、これは個人またはそれ以上でしばしば起こる事象、行動、事象または過程の詳細な分析に基づいている (Creswell、2010、14)。

##### 1. 研究の時間

2019 年 2 月から 2019 年 7 月までである。

研究の場所

Jia 外国語大学に行われている。

##### 2. 研究の種類

この研究では、定性的手法を用いている。定性的方法は、人々から書かれたまたは口頭での言葉の形で定性的な記述データを生み出す研究手順である (Prastowo、2012、1)。

##### A) 手続きの研究

1) 計画

2) 準備

3) 完了

## **B. データ収集技術**

本研究で使用したデータ収集方法はケーススタディ収集方法であり、著者によって得られたデータはソースブックとインターネットから来る。

## **C. データ解析手法**

著者はデータの形で証拠を収集しなければならず、それから研究を作成するためにデータ分析技術を使用して処理することができる

## **D. データソース**

この研究では、著者は研究の参考として使用されたいくつかの理論的な本で取られたデータソースを通して研究を行った。例えば、Masyarakat Jepang dewasa Ini による Tadashi Fukutake と Chie Nakane による *Japanese Society* などがある。

## 第Ⅳ章

### データの分析

#### A. データの分析

家族関係は、家族の世代が発展するにつれて拡大する可能性がある。結婚、同じ職業、同じ居住地のために関係を形成することもできる。徳川時代にシステムが親族関係を規制し、世帯主の地位、相続権、そして次世代を獲得するために設けられた結婚の概念を維持する場合。しかし、第二次世界大戦後、1946年の憲法第24条の制定と西洋文化の影響により、このシステムは廃止された。

日本社会の家システムは現在シフトを経験している。ただし、システムは完全に変更されていない。検討されるシフトまたは変化を経験する。家システムのカテゴリは、結婚の概念、建築の概念、家族の概念、忠誠心の概念、グループ主義、親分法文、継承の概念、家族世代の後継者である。

## 第Ⅴ章 結論と提案

### A. 結論

家システムに関連するデータと今日の日本社会における家システムの発現を分析した後、著者は 1945 年に今日までの日本社会における家システムの発現の分析全体を結論付けようとしている。

著者が行った研究に基づいて、徳川時代の日本社会におけるシステムの適用は、親族と親族に密接に関連していると結論付けることができる。日本人の生活はグループに分けられ、個人の利益よりもグループの利益を優先する。さらに、家族と継承の後継者の存在は、すなわちそれ自体の連続性と存在にとって非常に重要である。それで、次世代を創造するために徳川時代の結婚が行われなければならないことは驚くことではない。つまり、父系から受け継がれた仕事と家族の相続、すなわち家族の長男または長男-法律である。

家庭内でのジェンダーの役割も高く評価されており、家庭内で最高の力を持っているため、家長は王のように尊敬され、仕えられています。一方、彼の妻（義理の娘）は、家庭で大変な仕事をしているため、最も低く、最も拷問を受けた地位にある。

現在、日本に入った近代化と西洋化とともにシステムが廃止されたときに起こる変化や現象がある。結婚の概念の変化、家を建てる概念の変化、家族の形の変化など、システムの一つの現れである相続の分布へ。戦前の日本の



農村社会に存在していた地主への忠誠の概念は、今日でも存在しています。忠誠心の概念は、オフィスの従業員に見られる。さらに、従業員はまた、良い名前を維持し、グループで一緒に働き、他の人よりも優れていることを望まずに一緒に進歩しようとする。現在日本が直面している問題の一つは、日本の若者の結婚が遅れる現象と日本の出生率が低下するバンコンカ現象により高齢者が増加していることである。

## **B. 提案**

行われた研究の結果に基づいて、著者は次の提案を提案する。家システムについての理解を深め、知識を強化するためのさらなる研究のために、著者は、日本の文化とシステムに関する参考文献を可能な限り探し、図書館について、研究者は、特に日本社会におけるシステムに関して、日本文化と日本の歴史に関する情報源の本または参考文献を提供することを提案する。